



「都市への権利」をめぐる思想・学説史研究

～ものを見方を広げ、議論のレベルを向上させる社会思想史の貢献～

都市経営学部都市経営学科 助教 山本 千寛

キーワード

都市への権利, 生活者自治, 日常生活, 専門家(技術), 参加

該当するSDGs

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



1 研究内容

社会思想史は知識人や市井の人びとの〈ことば〉の蓄積に立ち戻り、その解釈を糸口として人間の営みを記述し直すことによって、社会問題や事象へのものを見方を広げ、議論のレベルを向上させます。

- (1) アンリ・ルフェーヴルの思想研究
思想家アンリ・ルフェーヴルは、消費社会や効率化のなかで見落とされる生活者の「別のニーズ、別の要求」を実現してゆくため、都市に住まう誰にでも「生活をもっとこんな風に変えたい！」という訴えや要請を表明する権利(都市への権利)があると提起します。
- (2) 専門家／技術と社会の関係をめぐる研究
広義の専門家や技術と社会の関係をめぐる言説の研究や、セルフビルド実践の事例研究等にも従事しています。

2 連携可能性のある研究分野, 又は, これまでの連携実績

連携可能性のある研究分野

- ・日常生活における時間・空間・技術の使いかた, 近代的統治と生活者自治や専門家参加をめぐる研究
- ・上記のテーマに関連する話題提供や審議(ワークショップ, 勉強会, 協議会, 委員会など)
- ・広がりのあるテーマや作品鑑賞を前提とした, 市民対話／哲学対話の試行やそのファシリテーター

これまでの連携実績

- ・映像作品や作品展示を念頭においた, 都市空間と芸術をめぐる対話イベントでの話題提供と鼎談 (ラボカフェ／鉄道芸術祭 vol.10, 京阪電車なにわ橋駅アートエリア B1)
- ・台風に介入する技術とその実現をめぐる市民哲学対話のファシリテーター (鹿児島県肝属郡肝付町)